平成３０年度幼稚園経営の基本構想

京都市立中京もえぎ幼稚園

学校教育の重点

伝統と文化を受け継ぎ，次代と自らの未来を
切り拓く子どもの育成
―　子どもの主体性と社会性の育成を目指して　―
「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める

幼稚園教育目標

たくましく心豊かな子どもの育成
～主体的に環境に関わり，好奇心や探究心を
育み，夢中になって遊ぶ心豊かな幼児の
育成を目指して～

園児の実態

素直で明るい。活発によく遊ぶ。
興味をもっていろいろなことに自分からかかわろうとする子どもが多い。
自分の思いを伝えながら，人とかかわっていくことがやや苦手な子どももいる。

保護者・地域の願い

子育て支援

未就園児教育相談の充実
保護者同士の情報交換・子育て情報の発信
ほっとちゃっとタイムの保護者交流
預かり保育の充実

目指す教職員像

・子どものよさや可能性を引き出し伸長させる教職員
（一人一人への丁寧なかかわり）
・子どもや親の課題や願いに正面から向かい合う教職員
（一生懸命・共感・温かい信頼関係）
・明るく元気な教職員

目指す子ども

・　明るく素直で思いやりのある子ども
・　自分で考え，行動する子ども
・　いろいろなことに興味や関心をもってかかわり夢中になって遊びこむ子ども
・　しなやかで粘り強く，最後までやり遂げようとする子ども
・　自分の思いも出しながら，相手の気持ちに気づける子ども

園　務　分　掌

施設等整備計画

安全管理・危機管理

重点目標

○　保育の充実
・　夢中になって遊ぶための環境を保障する。
・　様々な行事を通して伝統文化に触れる機会を大切にする。
○　幼稚園教育で大切にしたい心の育ちを探る。
・　夢中になって遊ぶ子どもの姿から子どもの心の揺れや動きをみとり，幼児理解を深める。

特色ある園づくり

地域とつながった幼稚園づくり
保幼小連携から接続の推進
（「非認知能力」や「学びに向かう力」等
幼児期に育てておきたい力について）
（接続期カリキュラムの作成）

幼稚園教育の柱

確かな学びにつなげるために
・　発達や学びの連続性に重点を置き，子どもの主体的な遊びを通して，興味・関心・意欲を引き出し，好奇心・探究心・思考力・コミュニケーション力・表現力・自己調整力等，小学校段階以降の学びの向かう力を育む。

豊かな心を培うために
・　教師との信頼関係のもと，自己調整力や協調性，自尊心などのいわゆる非認知的能力が育まれるようにしながら，他の幼児との関わりの中で他人の存在に気付き，相手を尊重する気持ちを持って行動できるようにするなど道徳性や規範意識の芽生えを培う。
・　身近な自然に触れ，感動する心やいのちを大切にする心を育て豊かな心情を培う。

健康なからだづくりのために
・　様々な遊びの中で，興味・関心・能力に応じて，全身を使って活動することにより，十分に体を動かす爽快感を体験し，自ら体を動かそうとする意欲を育てる。
・　家庭や地域と連携を取りながら，食事，運動，休養・睡眠の調和のとれた基本的な生活習慣の定着を図り，心身の健やかな成長を図る。

園内研究

好奇心や探究心を育むための
環境構成，教師の援助を考える

内外に開かれた幼稚園

学校評価システムの活用
幼稚園便り・学級便り・ホームページの活用による幼稚園教育の発信の充実
運営協議会（もえぎティンクル）による幼稚園教育への参画の充実
パパ・ママティーチャーによる保育参加

学年の重点

３歳児：安心できる生活や教師との信頼関係を基盤に，自分なりの思いを出して遊び，その子らしさを発揮していくもとを培う。
４歳児：一人一人が自分の思いを出し，気の合う友達と遊び，自己肯定感を育む。
５歳児：友達とのかかわりを深め一緒に遊ぶことを通して，一人一人が自分の持っている力を発揮し，人への信頼感や思いやりの気持ち，考えて行動しようとする態度を培う。

家庭・地域との連携

一人一人の良さ・可能性を生かす学級・学年経営

人権尊重を基盤にした幼稚園経営